

非核の政府を求める京都の会ニュース

題字：湯川スミ

2024年9月15日(日) 第226号

非核の政府を求める京都の会

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4の13 京都府教育会館別館
Tel. Fax 075-771-0729 郵便振替 01050-8-46430
URL <http://kyoto-hikaku.la.cococan.jp/>
E-Mail hikaku-kyoto@nifty.com
*本ニュースには著作権があります。転載にあたっては会事務局まで連絡ください。

◆「非核の会」が求める非核5項目◆

1. 全人類共通の緊急課題として核戦争を防ぎ、核兵器をなくす。
2. 国是とされる非核三原則の厳格な実施を求める。
3. 日本を核戦争にみちびくすべての措置に反対する。
4. 国家補償による被爆者援護法を国に求める。
5. 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづく国際連帯をつよめる。



2024年原水爆禁止世界大会国際会議の会場風景(8月3日、広島)

昨年(2023年)に引き続き8月3～4日の原水爆禁止世界大会国際会議、および4日午後の広島集会開会式に、非核の会・京都から古谷事務局長と私が参加しました。国際会議は世界大会広島集会や長崎集会で報告・議論する情勢認識

「第2セッション」核兵器のない平和で公正な世界をの討論で、非核の会・京都のこれまでの活動を反映した発言内容の骨子と国際会議宣言、およびそれに関連する事項を報告します。私の発言の骨子は以下の

【1】北東アジアにはASEANと違い、平和の枠組みがありません。ASEANは1967年に設立されて以降、76年に友好協力条約(TAC)、95年に非核地帯条約、そして東アジアサミット(EAS)やASEANインド太平洋構想(AOIP)へと「平和の枠組み」を進展させてきました。かつて北東アジアには「6か国協議(2003～07年)」という枠組みがありました。この6か国協議(南・北朝鮮、日本と米・中・ロ)という枠組みの復活を求める声を挙げるのが大切だと考えます。

【2】北朝鮮の核兵器放棄は、北東アジア非核地帯条約の締結、朝鮮戦争の終結と一体のものとして語ることが大切です。

【3】核兵器禁止条約の規範力と「核兵器を使えない地帯・非核兵器地帯」に向けた大切な条件となります。

【4】北東アジアにおける文化交流や、正確な歴史認識——日清戦争後に台湾を、日露戦争後に朝鮮半島を占領し、さらに満州国という傀儡国を建設するなど、重大な苦しみや北東アジアの人びとに与えた事実——を語りあうなど市民レベルでの交流を進めることが大切です。

【2面に続く】

「北東アジア非核地帯」が国際会議宣言で大きな位置づけで取り上げられる!!

確信を得た2024年原水爆禁止世界大会国際会議

本会常任世話人・事務局次長 長谷川 長昭

や課題などを、あらかじめ調整する任務をもって開かれています。その結果をまとめたのが「国際会議宣言」となります。世界大会や国際会議の全体像はメディアで報道されていますので、ここでは私が3日午後の

「北東アジア非核地帯化の議論が今こそ大切」と発言

【2】北朝鮮の核兵器放棄は、北東アジア非核地帯条約の締結、朝鮮戦争の終結と一体のものとして語ることが大切です。

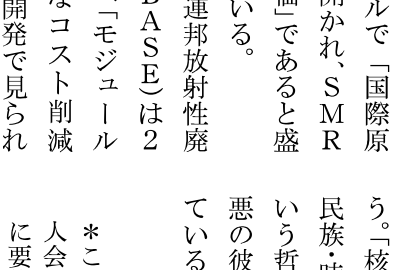
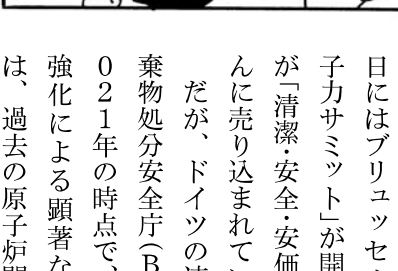
【3】核兵器禁止条約の規範力と「核兵器を使えない地帯・非核兵器地帯」に向けた大切な条件となります。

【4】北東アジアにおける文化交流や、正確な歴史認識——日清戦争後に台湾を、日露戦争後に朝鮮半島を占領し、さらに満州国という傀儡国を建設するなど、重大な苦しみや北東アジアの人びとに与えた事実——を語りあうなど市民レベルでの交流を進めることが大切です。

【2面に続く】

ピカパピと

No.117 ふるほし ひろみ



【2面に続く】

2 「原発ルネサンス」再び?

昨年4月15日、ドイツでは最後の原発3基(ネットカーヴェストハイム2、エムスラント、イザール2)が稼働を停止し、「脱原発」が完了した。本来それらは一昨年末にストップするはずであったが、ロシアのウクライナ侵略を契機とするエネルギー不安から、連立与党の自由民主党(FDP)が原発の稼働延長を主

張、2022年10月17日、シヨルト首相の裁定で「脱原発」の日程が確定したのであった。だがそれで「脱原発」をめぐる議論を経て決定されたはずの「脱原発」に「イデオロギー」というレッテルを貼り、地球環境と人間生活を破壊する「帝國的

議論が終わったわけではない。野党・キリスト教民主同盟(CDU)は今年5月7日、ベルリン党大会で採択した新しい基本綱領で「脱原発」を明記し、原子炉解体を阻止する構えである。今や保守・極右・ネオリベが、「原発復活」で大同団結しようとしている。彼らは、メルケル政権下、「より安全なエネルギー供給のための倫理委員会」で

「脱原発」に「イデオロギー」というレッテルを貼り、地球環境と人間生活を破壊する「帝國的

【2面に続く】



廃炉となったドイツの原発に隣接して建設された太陽光発電システム (写真: BUND Natur Schutz)

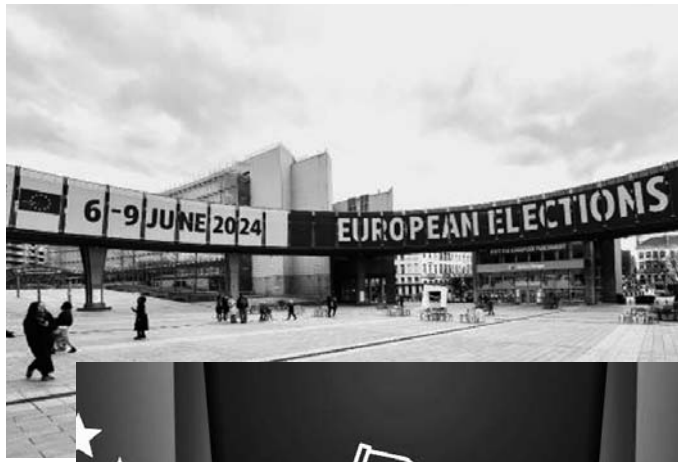
生活様式(ウルリッヒ・ブラント/マークス・ヴィッセン)の安易な継続を有権者に請け負っているように見える。

欧州レベルでは昨年5月16日にパリで、フランスが主導し14か国が参加する「EU核連合」がイギリスとイタリアも加えた共同声明を発表した。「EU核連合」は、今年5月4日にも共同宣言を発している。その要点は、CO2排出ゼロに向けた原子力発電支援という相も変わらぬ主張だが、小型モジュール炉(SMR)という新種の原発開発が打ち出されている。

【2面に続く】

【2面に続く】

【2面に続く】



ブリュッセルにある欧州議会（写真上）と2024年欧州議会選挙を告げるキャンペーン（写真下）

と指摘しました。

「採択された国際会議宣言に『非核地帯条約』が大きく記述

【5】「東アジアの平和」が最近大いに語られています。ASEANを中心とした東南アジアと、特別な問題を抱えた北東アジアの非核地帯化・平和地帯化が実現して、はじめて東アジア全体の平和が実現すると思えます。

最後に、北東アジア非核地帯条約構想は、日本国内の憲法9条改悪を進める人たちの根拠を摘み取るたたいにもつな

“NO”という人はおられなかった!!

国際会議宣言には多くの大切なことが記述されていますが、ここでは私が特に印象に残ったものだけを記します。

「私たちは今、『瀬戸際』ともいえる状況にある。ウクライナを侵略するロシアは、核兵器による威嚇をくりかえしている」とロシアの国際法違反を明確に指摘しました。

「私たちは今、『瀬戸際』ともいえる状況にある。ウクライナを侵略するロシアは、核兵器による威嚇をくりかえしている」とロシアの国際法違反を明確に指摘しました。

① 昨年の国際宣言で「世界は

② 核兵器禁止条約を「希望の光」と明確に位置付けました。

③ 「非核と包摂を特徴とする」東アジア、とくにASEANの発展を紹介。ASEANが非核地帯条約を中心に信頼を醸成し

私は参加していませんでしたが、広島集会2日目のフォーラム「非核平和のアジアのために」が開催されました。報道によれば、ここで日本共産党の志位和夫氏が「日朝平壤宣言に基づいて日本が多国間の枠組みをつくる突破口を開き、6か国協議のような多国間の枠組みを展望することが大事」と述べています。

非核の会・京都の運動に自信と確信が

動との連帯を記しています。

本会は4月の定期総会で会の掲げるスローガンを語り、個人と団体の賛同会員を大きく広げること提起しました。そこで、非核の会・京都や非核ニュースの魅力を会員に語っていただきました。会員を広げる働きかけの参考にしていただくと幸いです(今号から毎号掲載)。

核なき世界、そして生き続けられる地球へ!

語り、広げよう! 賛同会員

▶ 連載 1 ◀

連日、イスラエルによるガザ攻撃により子どもが殺され傷ついている報道に接していることがたまらなく辛い。もうこれ以上、誰の命も奪われてはいけません。ガザの現状は79年前、広島・長崎の空で原爆が炸裂し、街人も破壊つくした光景と重なる。

呼びかけると、みなさんが「いいよ!」と応えてくださる(今までの声をかけなかったことが申し訳なく思えるほど!!)。とりたてて難しい説明はいらない。今年の異常な気候変動は、「地球も人類も生存していくことができるのかどうか」を私たちに厳しく問うている。「戦争などやっている場合ではない。非人道的な核兵器は廃絶するしかない!!」

「この道をご一緒に!」と訴えて、NOという人はおられなかった。

（本会事務局 原木 とし子）



写真右からロシアの物理学者・ボドロフさん、宮城県AALAの小林立雄さん、非核の会・京都の古谷、長谷川（8月3日午後の世界大会広島集会開会総会にて）

先述の国際会議宣言の内容充実と併せて、非核の会・京都が進めてきた運動に、あらためて自信と確信を得るものとなりました。

欧州は原発復活に向かうのか?!

第10回欧州議会選挙を考える

本会常任世話人 木戸 衛一

去る6月6〜9日、欧州連合(EU)加盟27か国で、第10回欧州議会選挙が実施された。日本でも大きく報道されたように、多くの国、なかでもフランス、ドイツ、オーストリアで「自国ファースト」の極右勢力が躍進した。

ロナ危機、ウクライナ戦争に端を発するインフレ、難民の持続的流入など次から次へと難題に襲われ、欧州市民の政治意識は多分に内向きかつ感情的・近視眼的なものになった。そしてそれは、原発復活を狙う勢力に格好の政治的・社会的素地を提供している。

1 欧州極右の再編

一般に極右は、原爆にも原発にも肯定的である。6月の選挙時点で、欧州議会には二つの極右党派が存在した。一つは、メローニ首相の「イタリアの同胞」、ポーランドの「法と正義」(PiS)、ゼムールのフランス「再征服」(R)、スペインの「ボックス」(Vox)などの「欧州保守改革」(ECR)、もう一つは、ルペンのフランス「国民戦線」(RN)、オーストリア自由党(FPO)、ウイルダースのオランダ「自由党」(PVV)、サルヴィーニ副首相のイタリア「同盟」などの「アイデンティティと民主主義」(ID)である。「ドイツのための選択肢」(AfD)は、欧州選挙筆頭候補者クラーがイタリア紙に、「ナチ親衛隊(SS)の男がみな犯罪者だったわけではない」と発言したため、ルペンの強い意向でID会派から除籍された。投票を控えフォンデア

ライエン欧州委員長は、しきりにメローニに秋波を送っていたが、ECRの方がIDよりも穏健だと一括りには論じられない。

選挙の結果、ECRは83議席(+7)、IDは58議席(+9)を占めるはずであった。ところが6月30日、FPOのキツケル、「フィデス」のオルバン・ハンガリー首相、チェコ「政治運動AN O2011」(ANO)のバビシユが、欧州議会の新会派「欧州のための愛国者」(Pfe)の結成を告知する記者会見を開いた。欧州議会では、7か国で23議席以上有すると会派を作ることができる。

そして7月8日、Pfeは、RN、Vox、PVV、ポルトガルの「シェーガ」、ベルギー「フラームス・ベランフ」(VB)、デンマーク「国民党」などを糾合して正式に発足した。逆にECRは25議席に後退した。

三者のうちオルバンの「フィ

デス」は、かつてキリスト教民主主義の「欧州人民党」(EPP)会派に属していたが、同政権下の汚職、メディア・司法統制ゆえに、2019年3月、EPP籍を停止され、2年後に会派を離脱した。したがってオルバンにとつてPfeは、再び欧州議会内で連携相手を確認する場となる。

そして7月8日、Pfeは、RN、Vox、PVV、ポルトガルの「シェーガ」、ベルギー「フラームス・ベランフ」(VB)、デンマーク「国民党」などを糾合して正式に発足した。逆にECRは25議席に後退した。

【4面に続く】